



「つながるひろがるアート展Nasu」から

タイトル『花』  
神山悦雄

※役場本庁舎1階に神山さんの作品を展示していますのでご覧ください。

# 那須自然百景

## No.11 上の宮のイチヨウ



那須町芦野の国指定名勝「遊行柳」後方にある上の宮のイチヨウは「那須の名木」に指定され、樹齢は400年以上と推定されています。例年11月中旬になるとイチヨウの葉が紅葉し、その大きさときらめく黄金色が訪れる人を魅了しています。イチヨウの花言葉のひとつに「長寿」があります。樹齢がとも長いことに由来しているそうです。歴史を見守ってきたこのイチヨウは、私たちの「人生の先輩」そのものですね。長い年月を経たイチヨウの強い生命力を感じてみてはいかがでしょうか。

### かつこう

ここ数年、那須九尾まつりの司会を大田原市出身で方言収集家・作家の嶋均三さんにお願ひしています。均三さんの軽快な栃木弁や謎掛けで、会場が笑いの渦に包まれます。「みんな耳の穴かっぱじってよーぐ聞いどこれ」お稲荷巻きの味はこでらんねえな皆さん意味がわかりますか▼お笑

い芸人U字工事のテレビ出演などもあり、尻上がりイントネーションの栃木弁は、随分知られるようになりました。ナンバーワンの栃木弁は「だいじ(大丈夫)」ではないでしょうか。標準語ではないことを知ったとき、シヨックを受けました。一方で、ごじゃっぺ(うそ)、いじやける(イライラする)、えんがみた(ひどい目に遭う)など、愛すべき栃木弁を普段から話す人は少なくなってきました。

した▼言葉は時代とともに変化するものですが、方言は伝承されなければ消えていきます。まちづくりも同様で、標準語のように画一的なのは便利な反面、地域の特色を消し去ってしまいます。その地域でしか体験できないこと、味わえないものが求められています▼周囲を見渡せば、こでらんねえ(最高・たまらない)ものがたくさんあります。たまには栃木弁をしゃべってみて。

こんにちは

## 赤ちゃん



三森 絢葉ちゃん  
(上下田)

平成27年  
10月21日生

父 伸也さん 母 沙希子さん

絢葉ちゃん... 元気いっぱい好奇心旺盛。階段上りとすべり台が大好きです。



薄葉 瑚都ちゃん  
(川原町)

平成28年  
6月26日生

父 俊平さん 母 真季さん

瑚都ちゃん... 眠り姫です。毎日たくさん寝て、たくさん笑ってすくすく育っています。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

### 町の世帯と人口

(10月1日現在・住民基本台帳)  
( )の数字は前月比

・世帯数 10,214世帯 (-5)  
・人口 25,999人 (-12)  
男 12,874人(-2) 女 13,125人(-10)